2026 年 9 月 14 日更新

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

Ⅰ．事業の概要	
1．対象国名	カンボジア
2．案件名	現地廃材や安価素材を利用した自作教材による観察・実験を行う小学校理科授業の普及事業－「楽しく考える理科」の全国展開をめざして－
3. 事業の背景と必要性	カンボジアでは小学校教員養成学校（PTTC）において、生徒中心の観察・実験に基づく探究型理科授業ができる教員の育成が行われてきたが、多くの公立小学校では理科教材や現職教員向けの研修の不足等により、依然として先生中心の知識注入型の授業が行われている。本事業では、現地で調達可能な資材を使った自作理科教材を開発し、モデル小学校で活用を進める。さらに、教育青年スポーツ省（MoEYS）を通じて、初等教育局（DPE）のナショナルトレーナー（NT）と Science Technology Team（STT）メンバーに普及ノウハウを移転し、将来的な全国展開の基盤構築を図る。
4．プロジェクト目標	MoEYS により理科研究指定校として指定されたモデル小学校とモデル附属小学校において、自作理科教材を利用した探究型授業（※）が実施されるようになる。 （※）ここでいう探究型授業とは、知識注入型ではない生徒中心型の授業のことをいう。
5．対象地域	プノンペン都、シェムリアップ州、スバイリエン州
6．受益者層 （ターゲットグループ）	●直接受益者： DPE の NT、STT メンバー、モデル小学校の教員：550 人 ●間接受益者： モデル小学校の児童：約 17,000 人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 自作理科教材、教材の「製作の手引き」、および教材を活用した「モデル学習指導案」が開発される。 2. DPE の NT と STT メンバーによる模擬授業を通じて授業や教材の評価が行われ、モデル学習指導案が MoEYS 認定学習指導案として更新される。 3. モデル小学校の教員が自作教材を利用した探究型授業ができるようになり、公開授業が実施される。 4. DPE によって、自作教材を使った探究型理科授業普及計画が作成される。 <活動> 1. PTTC 教官と日本人専門家が協働し、自作理科教材、モデル学習指導案及び教材製作の手引きを開発・試行する。 2. NT および STT メンバー等を対象に研修や実践指導、本邦研修を実施し、探究型理科授業の普及を担う人材を育成する。 3. モデル小学校において自作教材を活用した授業実践、公開授業及び研究活動を推進し、普及モデルを構築する。 4. 理科研究指定校の拡大及び普及計画の策定を通じて、探究型理科授業の全国展開体制を整備する。
8．実施期間	（西暦）2026 年 8 月～2029 年 8 月（3 年）
9．事業費概算額	97,906 千円
10．相手国側実施機関 （カウンターパート）	相手国政府関係機関：教育青年スポーツ省 カウンターパート機関：初等教育局・教員養成開発総局
Ⅱ．団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	公益財団法人 CIESF
2．主な活動内容	カンボジア等における教員養成、学校教育改善、産業人材・起業家育成事業